

7/7名

チェック項目		実数					
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	合計	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	1	0	7
	2	署員の配置数は適切であるか	7	0	0	0	7
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	2	0	7
	4	成果空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	0	0	7
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	2	0	7
	6	保護者等向け評価により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	0	7
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	0	7
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	2	0	7
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	0	7
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0	1	7
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	1	1	7
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	0	7
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	0	7
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	0	7
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	0	7
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0	1	7

17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	0	5	0	7
18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4	0	4	0	7
19	日々に支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	0	7
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	0	7
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	0	7
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	1	0	7
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	0	2	1	7
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体勢を整えているか	2	0	3	2	7

チェック項目		工夫している点、課題や改善点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	定員は10名となっております。十分なゆとりのある指導訓練室です。
	2 署員の配置数は適切であるか	常勤職員5名、非常勤2名となっております。利用定員10名に対して適切です。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	階段では手をつないだり、必要な方には抱っこして対応しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	感染症を防ぐための器具、または消毒を徹底し毎日行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	活動日誌を利用し、日々の振り返りを行っている。職員同士でチェックしています。
	6 保護者等向け評価により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者アンケートは年2回行っている。改善点あれば職員で話し合いの場を設け、業務改善に努めています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報ホームページ等で公開しているか	年2回行っている。結果をホームページに掲載し契約する全ての方に結果表を郵送しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在、第三者評価は行っていないが、今後行う予定になっています
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	毎月、ケース検討会を行ったり、外部の研修も受けているので確保できています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	質の向上が必要であるが、支援計画に沿って支援を行っています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	現在、使用していませんが、今後、どのようなアセスメントツールを使用していくか検討する。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	短期、長期、それぞれ利用者に合った目標を設定しています。家族、地域においては内容が薄いため、今後は改善が必要です。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	個別支援計画に沿った支援が行われています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	職員同士が話し合いの場を設け、プログラムを提案し、アドバイスをもらうようにしています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	毎月固定しないよう、職員から新しいプログラムを提案していただくようにしている。実態を把握し、利用者のレベルに合わせた計画を作成しています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	利用者の特性に応じた支援を行っています。個別、集団の必要性を十分理解し、計画に反映させています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	朝礼を行い1日の流れを確認している。出勤時間が異なる方は必ず申し送りをチェックしています。

	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	勤務時間の都合上、全員で話し合うことは難しいが、日誌の確認で振り返りを行っています。
	19	日々に支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	その日の出来事を細かく記入できている。記録内容を個別支援計画に反映させています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	少なくとも半年に一回のモニタリングを行い、必要であれば短期間でも見直しを行うようにしています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	相談支援事業所とのやりとりは、児童発達支援管理責任者が行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	必要に応じて関係機関と連絡を取り合い、より良い支援につなげています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	現在、医療的ケアが必要な利用者はみえませんが通所の際は、各関係機関との連携を強化し、支援を行っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	通所の際は、必ず医師、各関係機関との情報共有を行い、相談等、連絡体制を整えます。
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	保育所や認定子ども園、幼稚園に入園されたあと、児童発達支援管理責任者が訪問し、情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	現在、十分とはいえませんが、必要に応じて情報共有できるようにしています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	定期的に研修を受けています。地域の児童発達支援センター、こども応援センター等と連携を行っています。また、直接、事業所へお越しいただき様子をご覧になれる場合もあります。
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は、十分に機会を設けることが出来ていませんが、今後、取り入れていきたいと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	参加できていないことが現状ですが、今後、地域交流等深めていく必要があると思っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時など保護者と直接お話をする機会があるときには、お子さまの様子をこまめに伝えたり、家庭での様子を聞かせていただくことで、情報共有を行っています。また、定期的や必要に応じて保護者と面談するようにしています。
	31	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	月に1回、親子療育を取り入れ、保護者の困り感やお子さまの行動についての助言を行っています。今後も質の向上が必要です。
	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に、重要事項説明及び契約書の説明をしています。利用者負担に関しては別紙を用意し、どのような単位(料金)になるのか説明させていただきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	サービス提供以前に、保護者の方への説明をさせていただいてます。保護者に納得いただき、双方にて同じ書類を保有し、記名、押印の上、同意を得ております。

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	定期的に事業所内相談支援を行い、保護者の悩み、相談をお聞きして助言をしています。必要であれば個別支援計画の見直しも行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	親子遊びを通し、以前よりも保護者間での会話、情報交換をする機会になっていると思う。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	相談や申し入れがあった場合には、速やかに対応し、体制を整えております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報「にじ」を毎月発行しております。会報と一緒に、予定表、連絡事項等、必要な情報を同封しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	個人情報は鍵付き書庫にて管理者の下保管されている。ブログ等、SNSにも十分配慮し、個人情報の流出に気を付けている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	本人の特性に応じた対応を行っています。言って伝えるだけでなく視覚的にも伝えています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	盛大な行事に関しては、チラシの作成を行い、地域の方々に周知し、来場していただけるようにしています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	マニュアルは策定してありますが、保護者に周知はされておりませんが、事業所では定期的に訓練を行い、担当、避難場所等の確認をしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	月に一回、避難訓練を行っています。職員は避難、救護等の担当に分かれ、的確に指示を出し訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	モニタリング、面談等にて情報を収集する。記録用紙に記入し、情報の共有をしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	現在、アレルギー対応を行う利用者はみえないが必要であれば医師の指示書に基づき対応をします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットの記入を行い、職員会議にて情報の共有を行い、改善策を考えています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	県が主催する虐待防止研修を受講している。それ以外にも県から職員を招き、事業者としての研修も行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	身体拘束は行っていない。必要である場合は、保護面談及び各関係機関とのケース会議を設け、医師の診断の下に行い、個別支援計画に記載します。